

システム生体工学科は AMT-BHI 2013 に参加しました

10月29～31日に前橋テルサで開催された Active Media Technology-Brain Health Informatics 2013 (AMT-BHI 2013)は生命情報学科の鍾寧教授とシステム生体工学科の今村一之教授のご尽力で成功裏に終了しました。30数か国から200名以上の研究者が一堂に集い、熱い議論が交わされました。基調講演では(独)日本学術振興会理事長の安西祐一郎先生によるロボット研究のお話があり、他にも世界的に著名な研究者によるキーノートレクチャーがいくつもありました。研究の面白さや最先端の研究の大変興味深いお話を伺うことができました。システム生体工学科の在学学生も参加し、本学大学院博士前期課程システム生体工学専攻や博士後期課程の環境・生命工学専攻(生命工学分野)の院生が発表しました。学科の先生方も座長をされたり研究内容を発表されました。下の写真から会場の熱い雰囲気が伝わってくると思います。ご覧ください。

システム生体工学科
学科長 野村保友



今村一之教授のあいさつ



石川保幸准教授の発表風景



院生の発表風景(座長:王鋒准教授)



真剣に聞き入る参加者